

補聴器 HI-C7DA/DB/DC/DD/DE

取扱説明書・安全上のご注意

Web サイトより HI-C7 共通取扱説明書がダウンロードできます。
<https://www.rionet.jp/product/manual/rionet2/hic7/web>

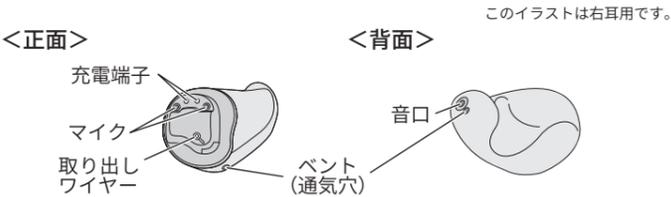


- ご使用前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 本書は適切に保管し、必要なときにご利用ください。
- 詳細は、Web の HI-C7 共通取扱説明書にありますので、必要なときはダウンロードしてご利用ください。

お断り

この補聴器は 132 dB 以上の出力を有するので、フィッティングにおける最大出力音圧の設定には注意が必要です。

各部の名称



このイラストは右耳用です。

- 補聴器にはお客様のお名前、型式、製造番号が記されています。
- イラストは標準的な仕様を表しています。各種オプションをご利用いただいた場合は、イラストと異なる場合があります。
- お客様の耳の形によって、ベントはつかない場合や、位置が変わることがあります。

付属品

- 取扱説明書・安全上のご注意(本書)
- ブラシ
- 添付文書
- 保証書

交換可能な別売部品：耳あか防止チップ G、耳あか防止チップ S

別売品

- 充電ケース HX-C7
- リモコン RH-08
- テレビアダプター RH-07
- 補聴器クリーニング専用シート
- 耳あか防止チップ G キット

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いにより生じるおそれがある内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ずお守りください。

絵表示の例

図の中に具体的な禁止内容が表記されることがあります。

	禁止内容		指示内容
--	------	---	------

	警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
	注意	誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。

■ 植込み型医療機器をご使用の方へ

 警告

- 本器は電波を發します。植込み型医療機器(植込み型心臓ペースメーカー、植込み型除細動器)を使用している方は、植込み部位に対して本器を密着させない。植込み型医療機器に異常が生じる場合があります。

■ 一般的な取り扱いについて

 警告

- 火中への投入や分解はしない。破裂するおそれがあります。

 注意

- MRI 検査を行う場合は、補聴器を検査室に持ち込まない。補聴器の金属部が熱くなって火傷をするおそれがあります。また、磁気により補聴器が MRI 装置に吸着され、ケガをしたり、補聴器が故障したりする可能性があります。

大きな音で聞き続けられない。

大きな音で聞き続けると、さらに聞こえを悪くすることがあります。また、補聴器からピーピー音が発生するハウリング状態で使用し続けると、聞こえを悪くすることがあります。

耳の形状に合わない補聴器を使用しない。

補聴器の形状が耳に合っていないと、ピーピー音が発生する場合や、よく聞こえない場合があります。お買い求めのお店にご相談ください。

 試聴に際しては大音量に注意する。

この補聴器の出力は、出荷時にお客様の聞こえに合わせて調整されています。この状態で補聴器によっては 120 dB SPL* を超える出力が出ますので、大きな音にご注意ください。
 ※音圧表示は 2 cm³ カプラの場合です。密閉形擬似耳を使用した場合は、およそ 125 dB SPL となります。

他人に補聴器を貸さない。

耳を傷めることがあります。

乳幼児またはその他誤って口に入れてしまいそうな方の手の届かないところに補聴器を保管する。

補聴器は飲み込むと危険です。この補聴器にはリチウムイオン充電電池が内蔵されています。

かゆみやかぶれに注意する。

体質によって、かゆみ・かぶれを生じる場合がありますので、皮膚に異常を感じたときは、ご使用をおやめいただき耳鼻咽喉科医師にご相談ください。

■ 電磁波を發する機器(本器)の使用制限について

 注意

- 本器を使用する前に、電子機器または電磁波を發する機器の使用制限がないかどうか確認する。本器から発生する電波は、電子機器に影響を及ぼすおそれがあります。航空機では乗務員または航空会社の指示に従い、必要により本機の電源を切にしてください。

電波に関する注意事項

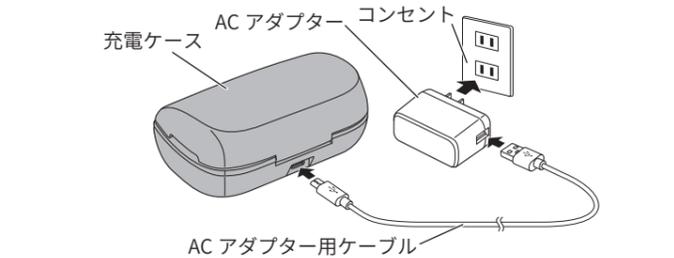
- 本器は電波法に基づく「2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システム」の無線設備として、工事設計の認証を受けた部品を採用しています。
- 本器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が使用されています。
 - ① 本器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ② 万一、本器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉(混信など)が発生した場合には、本器の電源を切り、弊社営業部にご連絡ください。
 - ③ その他、本器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社営業部にご連絡ください。
- 本器を使用するときには無線局の免許は必要ありません。
- 本器は日本国内でのみ使用できます。
- 分解/改造などを行うと、法律で罰せられることがあります。
- 本器が操作できないなどの症状が起こる場合は、電波の混信が原因である場合があります。このような場合にも弊社営業部にご連絡ください。

2.4XX1	帯域	：2.4 GHz 帯
	変調方式	：その他の方式(GFSK 方式)
	与干渉距離	：10 m 以下
	移動体識別装置の帯域の回避	：全帯域/回避不可

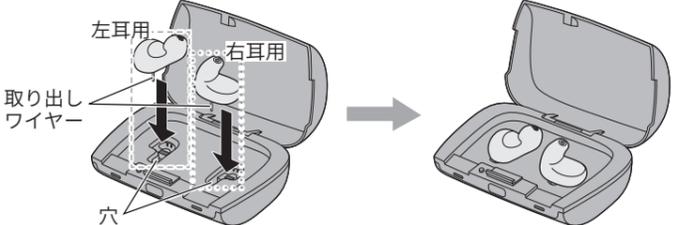
使用方法

準備

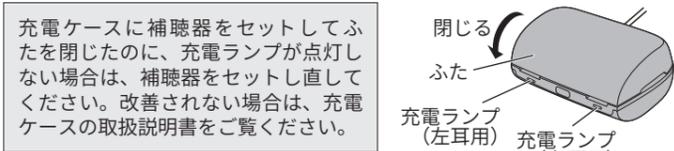
- ① 充電ケース(別売品)と充電ケースに付属されている AC アダプター、AC アダプター用ケーブルを組み立て、コンセントに接続します。



- ② 補聴器を充電ケースにセットします。正しくセットされると補聴器の電源が切れます。充電ケースの左側に左耳用補聴器、右側に右耳用補聴器をセットしてください。補聴器の取り出しワイヤーを充電ケースの穴に入れると、磁石で吸着されます。



- ③ 充電ケースのふたを閉じると、充電が開始されます。充電中は、充電ランプがオレンジ色に点灯します。充電が完了すると、充電ランプが青色に点灯します。充電時間目安：最大約 2.5 時間

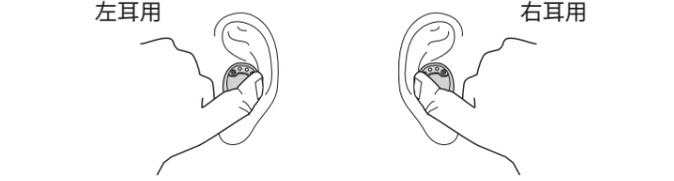


使用方法

- ① 充電ケースから補聴器を取り出すと補聴器の電源が入るので、すみやかに装着します。
- ② 補聴器が耳あなにおさまるように、ゆっくり入れます。



- ③ 補聴器が耳あなにぴったり入るところまで押しします。



- ④ リモコン(別売品)またはスマートコントロール 2 を使用することで、メモリーの切り替え、ボリューム操作が可能です。
- ⑤ 使用しないときは耳から外し、充電ケースにセットします。

工事設計認証

工事設計認証番号	
HI-C7DA/DB/DC/DD/DE	  003-230052 (左耳用) 003-230053 (右耳用)

この補聴器は工事設計認証を受けています。本体に特定無線設備の証明ラベルを表示するスペースが確保できないため、取扱説明書・安全上のご注意(本書)に技適マークを記載しています。

使用上のご注意

<お使いになる前に>

- 補聴器は、お客様の聞こえを元に戻すものではありません。聞こえを補う医療機器です。大きすぎる音で聞いたり、耳に合わない使い方をしたりすると、耳を傷める原因になります。
- 補聴器を使うときは、必ず聞こえの程度を病院やお買い求めのお店で調べてもらってください。補聴器の調整は聞こえの程度に合わせて、お買い求めのお店で調整してからお使いください。
- 使い始めは音量を小さめにして、慣れるに従って少しずつ音量を加減してお使いください。
- 補聴器はお客様の耳に合わせて調整されています。他人に補聴器を貸したり、他人の補聴器を借りたりするのはおやめください。耳を傷める場合や感染する場合があります。
- 耳の治療をされている方、治療したことのある方は、耳鼻咽喉科医師にご相談の上お使いください。
- お子様の場合は、難聴の度合を調べにくいので、必ず耳鼻咽喉科医師の指導を受けてからお使いください。
- 快適にお使いいただくために、お使いになる前には、耳を清潔にしてください。
- 補聴器は外観の点検を行ってから装着してください。ひび、キズが入った補聴器は使用しないで買い求めのお店で点検修理を行ってください。万一、装着中に補聴器が破損した場合は、無理して取り出さずに耳鼻咽喉科医師にご相談ください。

<使用の中止>

以下のような症状が現れたときは、補聴器の使用を中止し、すぐに医師または買い求めのお店にご相談ください。

- 補聴器が皮膚に接する部分がかぶれたり湿疹ができたりしたとき。この補聴器の皮膚に接する部分には、炎症を起こしにくい材料を使用していますが、体質によってはまれにかぶれや湿疹を生じることがあります。
- 使用中に耳だれが生じたり、何らかの事情で耳の治療が必要になったりしたとき。
- 以前に比べ、急に耳の聞こえが悪くなったと思われるとき。
- めまいや頭痛が生じるとき。
- 耳の中に痛みが生じるとき。

<取り扱い・保管>

- 外出した際の道路上や、室内では洗面所など、落とすと壊れやすい場所で、補聴器をつけたり外したりするのはおやめください。補聴器の着脱は、畳やじゅうたんなど柔らかい敷物の上で、座って、落ち着いて行ってください。万一、落としてしまい、破損が生じたら、ご使用をやめ、お買い求めのお店にご相談ください。また、補聴器を充電ケースに入れた状態で落とすと、充電ケースにセットした補聴器が外れることがあります。落とした際は、補聴器をセットし直してください。
- 補聴器装着時にヘアスプレーや香水など、気化する物のご使用はおやめください。補聴器の故障の原因となる場合があります。
- 内部は特に精巧にできています。針、ピン、ペン先、楊枝、爪の先などで、つついたり、差し込んだりしないでください。
- 補聴器は、強力な磁気を帯びたものに接触すると、故障することがあります。強力な磁気を帯びたものを触れさせないでください。
- 補聴器は濡れると故障するおそれがあります。取り扱いは必ず乾いた手で行ってください。入浴時、洗顔時は外し、濡れたテーブルの上などに不用意に置かないようにしてください。突然の雨や台風の時にも注意してください。
- 万一、水の中に落としてしまった場合は、まず乾いた布で補聴器の外側の水分をよく拭き取ります。乾いたタオルなどの上へのせ、水分が切れるようにしばらくおいて乾燥させます。以上が応急処置ですが、できるだけ早く買い求めのお店に点検を依頼してください。電子レンジ、食器乾燥機、ドライヤーなどの電気機器で乾燥させるのはおやめください。補聴器が故障します。

補聴器は乳幼児またはその他誤って口に入れてしまいそうな方の手の届かないところに保管してください。万一補聴器を飲み込んでしまったときは、窒息するおそれがありますので直ちに医師にご相談ください。

応急処置方法などについては、以下の（公財）日本中毒情報センターにご相談ください（ただし通話料は相談者の負担）。

- つくば中毒 110 番　TEL 029-852-9999

24 時間年中無休
- 大阪中毒 110 番　TEL 072-727-2499

24 時間年中無休

- テーブルの上などに置き忘れると、ペットがじゃれて遊んだり、かじったりして、補聴器を壊すことがあります。ペットのいるご家庭では注意してください。
- 補聴器はリモコン/スマートコントロール2それぞれとペアリングできますが、同時には接続できません。
- 本器は 2.4 GHz 帯の周波数を使用します。この周波数帯では、さまざまな機器が使用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信距離が短くなったり、通信が切断したりします。本器の使用に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth 機器、無線 LAN 機器のいずれかの使用を中止してください。
- 周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 治療や検査の種類により補聴器に悪影響を与える場合があります（CT など X 線を使用する診断、マイクロ波治療器など電磁波を利用する機器、放射線による治療など）。医師に補聴器を外すかどうかお尋ねください。

なお MRI 検査を行う場合は、補聴器を検査室に持ち込まないでください。

- ストーブのそばや直射日光の当たる場所など温度の高い所、浴室、加湿器のそばなど湿気の多い所には置かないでください。また、真夏の車の中なども閉め切っていると高温になり、補聴器が故障することがあります。
- アルコールに濡れた状態またはアルコールを含んだ紙や布と一緒に、補聴器を保管しないでください。故障の原因になります。
- お買い求めのお店に修理を依頼してください。ご自身では絶対に修理しないでください。
- 本器は専用の充電ケース（別売品 HX-C7）を使って充電してください。異なる機器で充電すると、補聴器内部の充電池が発熱、発火、破裂するおそれがあります。
- 取り出しワイヤーが曲がっていると、正常に充電ケースにセットできないことがあります。取り出しワイヤーが曲がっていないことを確認してください。
- 補聴器の電源を入／切するには、必ず充電ケースで行ってください。

＜免責事項＞

- 地震・雷・風水害および火災、第三者による行為その他の事故、お客様の故意または過失誤用、その他異常な条件での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生じる記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断などの付随的な損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。

＜廃棄するときのお願い＞

- 補聴器の廃棄方法は、お住まいの自治体へお問い合わせください。この補聴器にはリチウムイオン電池が内蔵されています。

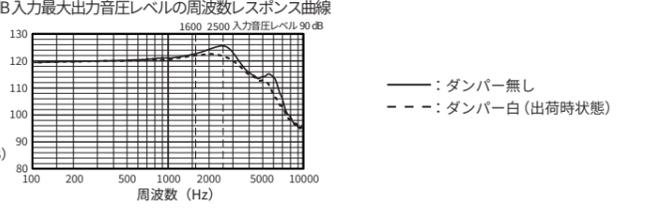
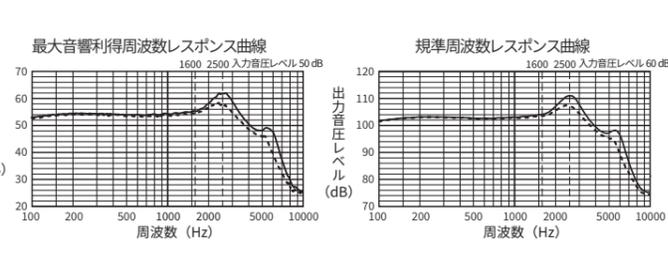
仕様					
寸法	19 × 25 × 22 mm				
質量	6.0 g 以下				
内蔵充電池	リチウムイオン充電池：DC 3.7V				
充電時間	最大約 2.5 時間*				
連続使用時間	<table><tbody><tr><th>通常</th><td> 約 27 時間（イヤホン中）*、約 28 時間（イヤホン大）*</td></tr><tr><th>ストリーミング時</th><td> 約 14 時間（イヤホン中）*、約 14 時間（イヤホン大）*</td></tr></tbody></table>	通常	約 27 時間（イヤホン中）*、約 28 時間（イヤホン大）*	ストリーミング時	約 14 時間（イヤホン中）*、約 14 時間（イヤホン大）*
通常	約 27 時間（イヤホン中）*、約 28 時間（イヤホン大）*				
ストリーミング時	約 14 時間（イヤホン中）*、約 14 時間（イヤホン大）*				

※ 新品の充電池の場合

イヤホン中 JIS C 5512:2015 (2 cm³ カブラで測定)で表示

項目	公称値	〔許容差〕	
最大音響利得	HFA	57 dB	[±5 dB]
	ピーク値	63 dB	[+3 dB 以下]
90 dB 入力最大出力音圧レベル	HFA	123 dB	[±4 dB]
	ピーク値	126 dB	[+3 dB 以下]
等価入力雑音レベル		29 dB	[+3 dB 以下]
全高調波ひずみ	500 Hz	2%	[+3%以下]
	800 Hz	2%	[+3%以下]
	1600 Hz	1%	[+3%以下]

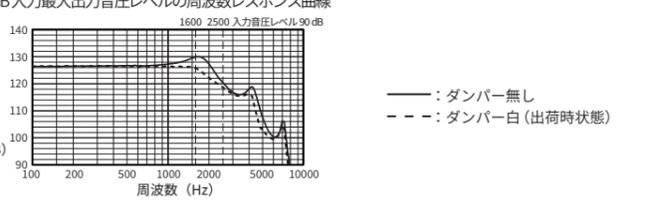
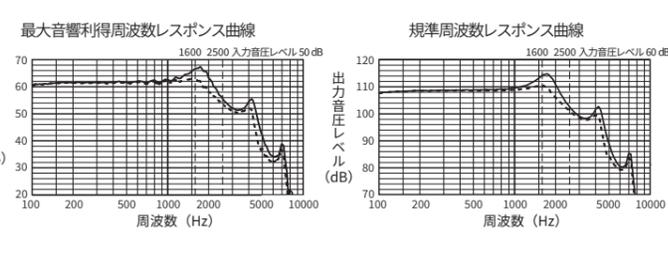
その他の技術的データは、テクニカルインフォメーション（販売店向け資料）に記載されています。



イヤホン大 JIS C 5512:2015 (2 cm³ カブラで測定)で表示

項目	公称値	〔許容差〕	
最大音響利得	HFA	62 dB	[±5 dB]
	ピーク値	68 dB	[+3 dB 以下]
90 dB 入力最大出力音圧レベル	HFA	126 dB	[±4 dB]
	ピーク値	130 dB	[+3 dB 以下]
等価入力雑音レベル		30 dB	[+3 dB 以下]
全高調波ひずみ	500 Hz	2%	[+3%以下]
	800 Hz	2%	[+3%以下]
	1600 Hz	1%	[+3%以下]

その他の技術的データは、テクニカルインフォメーション（販売店向け資料）に記載されています。



お手入れ

- 補聴器を柔らかい布で乾拭きしてください。手順は、Web の HI-C7 共通取扱説明書をご覧ください。
- 音口とその付近のベントの溝または穴が、耳あかなどで汚れたり詰まったりしていないことを確認し、ご使用後は、付属のブラシで掃除してください。

適応難聴

適応難聴：軽度・中等度・高度・重度、伝音・感音・混合性

輸送や保管に関する環境条件

・温度：−10〜45℃　・湿度：20〜85%（ただし結露のないこと）
直射日光が当たる場所を避け、保管すること。

電撃保護

内部電源機器



商標について

- 本書中の会社名、商品名は、一般的に各社の登録商標または商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、リオン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。



補聴器おぼえがき

購入年月日
購入店名
電話
担当者
補聴器製造番号 (右)：
補聴器製造番号 (左)：
ベント径 (右) () 無し
ベント径 (左) () 無し
耳あか防止チップ (右)チップG その他 () 無し
耳あか防止チップ (左)チップG その他 () 無し

調整・修理・点検の記録

日付	内容
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-

お願い

万一、修理が必要になりましたら、お買い求めのお店に修理を依頼してください。ご自分では絶対に修理しないでください。使い方、お手入れ、その他に関してご不明な点がありましたら、お買い求めのお店にご相談ください。故障がなくても、1年に1度はお買い求めのお店で点検・調整をおすすめします。

医療機器認証番号は、添付文書および外箱に表示してあります。販売名：補聴器 HI-C7DA／補聴器 HI-C7DB／補聴器 HI-C7DC／補聴器 HI-C7DD／補聴器 HI-C7DE

製造販売元

リオン株式会社

https://www.rion.co.jp/

本社・営業部

〒185-8533 東京都国分寺市東元町 3-20-41

リオネット補聴器お客様コールセンター

フリーダイヤル 0120-2933-76

受付時間：9:00～21:00